



観光

小田原 夏まつり

一日の暑さと疲れを忘れ、夏の夕べの涼しいひとときを市民の皆さんで楽しむ。次は日曜に華々しくくりひろげられます。七月二十六日夜八時より線香まつり(雨天中止)二十六夜の夏の宵に、線香をたてて下駄の月を待ちわびる小田原独特の祭りです。当日夜八時から観光映画を上映いたします。

水の祭典

世界のはてに続く海原を前に光と水の中から次代を背負う若人達の躍動の世界が展開されます。八月四日午前八時半より競泳大会。小田原を中心とした、近郷の実業団及び高校生の競泳大会。

八月五日、模型モーターボート競技。午前八時半、百条隻の模型モーターボート競走です。場所は市営海水プールで参加申込者は市役所観光課又は小田原駅前一少年の店「模型店」へ。八月六日西風流し。午後一時より西瓜を流し、海に乱舞する若人の競技です。子供はプールで行います。八月十日より十六日まで流燈広告祭。小田原の昔を偲ぶ城址公園の涼の水に大小の燈籠を浮かべ、不夜城を現出致します。

懸賞募集

懸賞募集

小田原市交通協会は昭和二十六年四月一日発足し、活潑な活動を開始、一路交通問題の解決に努力しておりますが、今度、会員章(バッジ)の図案を市民の皆様から懸賞により募集することになり、したので振って応募して下さい。

募集規定 一、趣旨 交通安全を象徴するもので暫新的なもの 二、用紙 葉書 一枚一点 一人何点にても可 三、住所氏名明記のこと 四、色彩 黒一色 五、締切 八月十日(金) 六、賞金 一等 二千元(一名) 二等 五百円(三名) 佳作には薄謝を呈す 七、宛名 小田原市警察本部内 小田原市交通協会 八、審査員 交通協会理事及び学識者 九、発表 八月二十日 市報掲載 一〇、採用 一等入選作品 応募作品は一切返却しない

小田原市議会常例会は六月十八日午後一時十五分開会し、議長は会期を一日と定め、次の案件を逐次上程、予算、条例、競輪場の買収並びに一時借入金の変更等については原案通り可決、選挙並びに選任については指名推選の法により次の通りをいずれ決定、なお監査委員に選任された井上(孝)向笠両氏より就任の挨拶

議案

六月十八日

一、競輪場の買収について 一時借入金の変更について 昭和二十六年度小田原市競輪事業費歳入歳出追加更正予算 小田原市火災予防条例 小田原市国民健康保険 昭和二十六年度小田原市競輪事業費歳入歳出追加更正予算 昭和二十六年度小田原市水道事業費歳入歳出追加更正予算

一、動物舎新築について 六月二十五日 出席委員 七名 審査事件 一、市内金庫室新築工事施行について 一、都市水利施設事業執行について 一、災害復旧事業執行について 一、土木費予算について 一、消防署の計画について 一、市警察署の方針について

市民の集い

新玉地盤

市広報委員会では六月二十三日夜、新宿公民館で「市民の集い」を開催した。中心話題は「夏の衛生」市税 国民健康保険 市財政事情 等で、参加者は婦人を主として約五十名、講師並びに回答者として果敢に答へた。市税 国民健康保険 市財政事情 等で、参加者は婦人を主として約五十名、講師並びに回答者として果敢に答へた。

国民健康保険 市財政事情 等で、参加者は婦人を主として約五十名、講師並びに回答者として果敢に答へた。市税 国民健康保険 市財政事情 等で、参加者は婦人を主として約五十名、講師並びに回答者として果敢に答へた。

夏期衛生

夏期衛生

今年の伝染病発生状況特に赤痢患者は昨年同様の十九倍もの多数が発生した。赤痢予防上の注意、特に炊事をやる婦人に手洗いの必要なることを説き、罹患者は年少者に多い特に五才未満の幼児は全体の四〇%以上を占めている。

得いぬ場合合気持よく相談のつて欲しい。その他質疑応答、希望意見の開陳等があつて市民税を終つた。夏期衛生 今年の伝染病発生状況特に赤痢患者は昨年同様の十九倍もの多数が発生した。赤痢予防上の注意、特に炊事をやる婦人に手洗いの必要なることを説き、罹患者は年少者に多い特に五才未満の幼児は全体の四〇%以上を占めている。